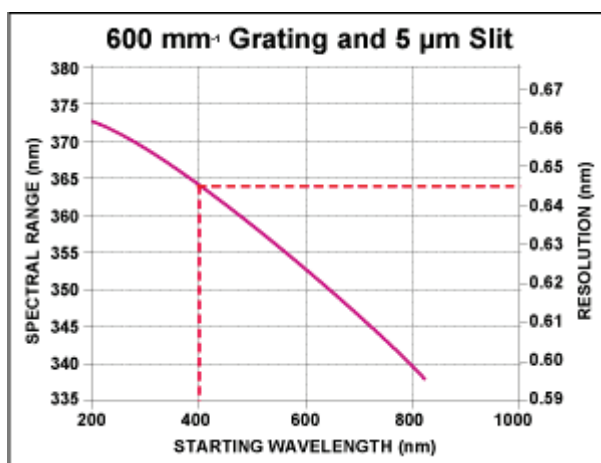


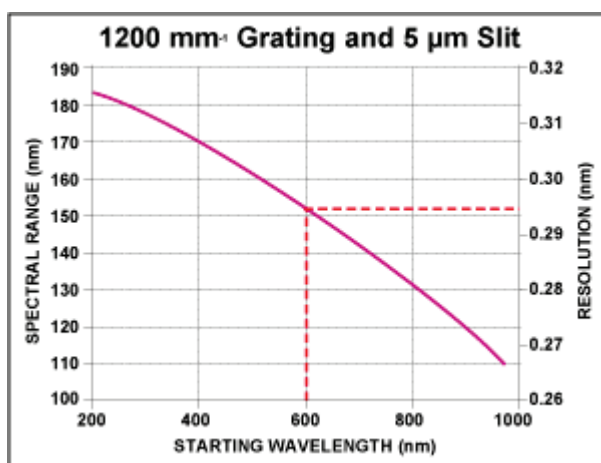
## 測定可能波長範囲および波長分解能(4)

### (QE65 Pro/QE Pro)

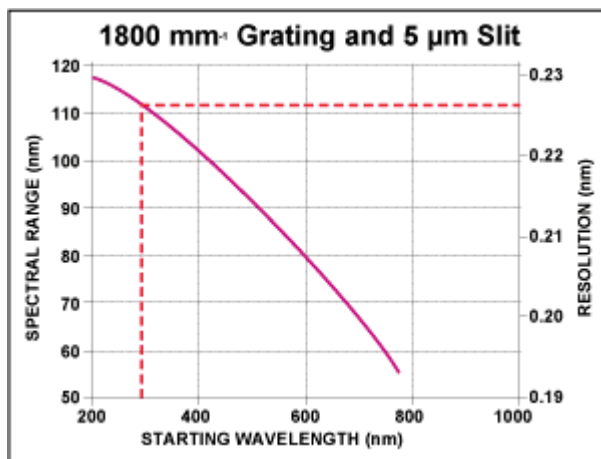
以下のグラフは、5  $\mu\text{m}$  入射スリットと各種グレーティングの組み合わせによる QE65000 分光器の測定可能波長範囲と波長分解能を示しています。



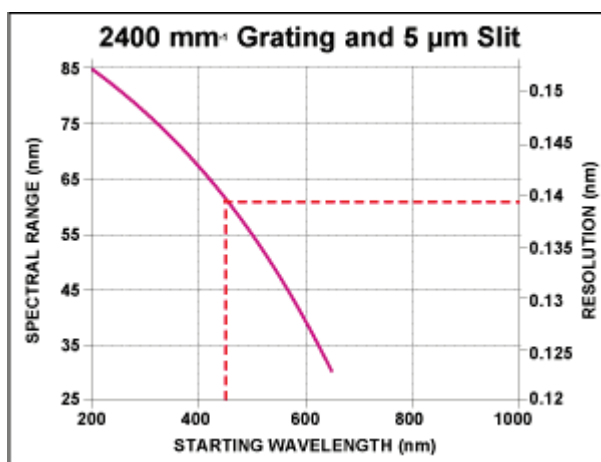
例：設定開始波長が 400 nm のとき、波長範囲は～364 nm（400～764 nm）となり、波長分解能は 0.645 nm となります。  
刻線数 600 Lines/mm のグレーティング；1、2、3、4、14 が対象となります。



例：設定開始波長が 600 nm のとき、波長範囲は～152 nm（600～752 nm）となり、波長分解能は 0.295 nm となります。  
刻線数 1200 Lines/mm のグレーティング；5、6、9 が対象となります。



例：設定開始波長が 300 nm のとき、波長範囲は～112 nm（300～412 nm）となり、波長分解能は 0.226 nm となります。  
刻線数 1800 Lines/mm のグレーティング；10、11 が対象となります。



例：設定開始波長が 450 nm のとき、波長範囲は～62 nm（450～512 nm）となり、波長分解能は 0.139 nm となります。  
刻線数 2400 Lines/mm のグレーティング；7、12 が対象となります。